

国土数值情報（三大都市圏計画区域）

製品仕様書

第 1.0 版

平成 18 年 3 月

国土交通省国土計画局

目次

1 概覧	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報	1
1.2 目的	1
1.3 適用範囲	1
1.4 引用規格	2
1.5 用語と定義	2
1.6 略語	2
1.7 参考資料	2
2 適用範囲	3
2.1 適用範囲識別	3
2.2 階層レベル	3
3 データ製品識別	4
3.1 製品仕様識別	4
4 データ内容および構造	5
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書	5
4.1.1 国土数値情報パッケージ	5
4.1.2 国土数値情報応用スキーマパッケージ	6
4.1.3 国土数値情報データ集合パッケージ	7
4.1.4 指定地域パッケージ	10
4.1.5 三大都市圏計画区域パッケージ	10
4.1.6 共通パッケージ	14
4.2 空間スキーマプロファイル	15
4.3 時間スキーマプロファイル	15
5 参照系	16
5.1 座標参照系	16
5.2 時間参照系	16
6 データ品質	17
7 データ製品配布	19
7.1 配布書式情報	19
7.2 配布媒体情報	19
8 メタデータ	20

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：
国土数値情報（三大都市圏計画区域）製品仕様書 第 1.0 版
- 日付：平成 18 年 3 月
- 作成者：国土交通省 国土計画局 総務課 国土情報整備室
- 言語：日本語
- 分野：土地台帳計画、社会
- 文書書式：PDF

1.2 目的

本製品仕様書は、地理情報標準プロファイル（JPGIS）第 1.0 版に可能な限り準拠した国土数値情報データを構築することを目的とする。

なお、本製品仕様書の利用者は、国土数値情報データの作成者、及び従来の国土数値情報を地理情報標準プロファイルのデータ形式に変換するデータ作成者をおもな対象としている。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
日本全国
- 時間範囲
1975 年（昭和 50 年）～2006 年（平成 18 年）

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 平成 17 年 3 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版「附属書 5 (規定) 定義」

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（三大都市圏計画区域）製品仕様書第 1.0 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（三大都市圏計画区域）データ

■ 日付

平成 18 年 3 月 24 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土計画局 総務課 国土情報整備室

電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1569

Email：nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

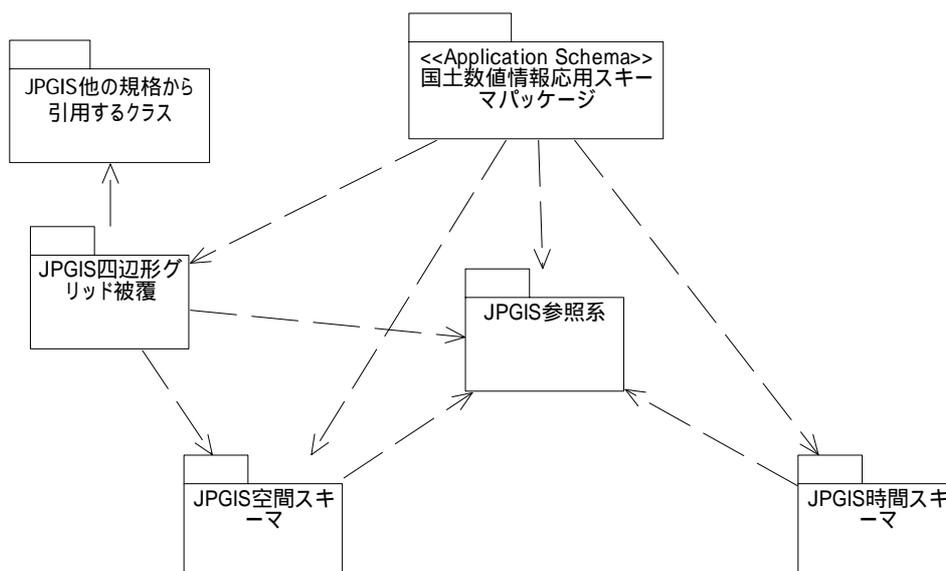
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

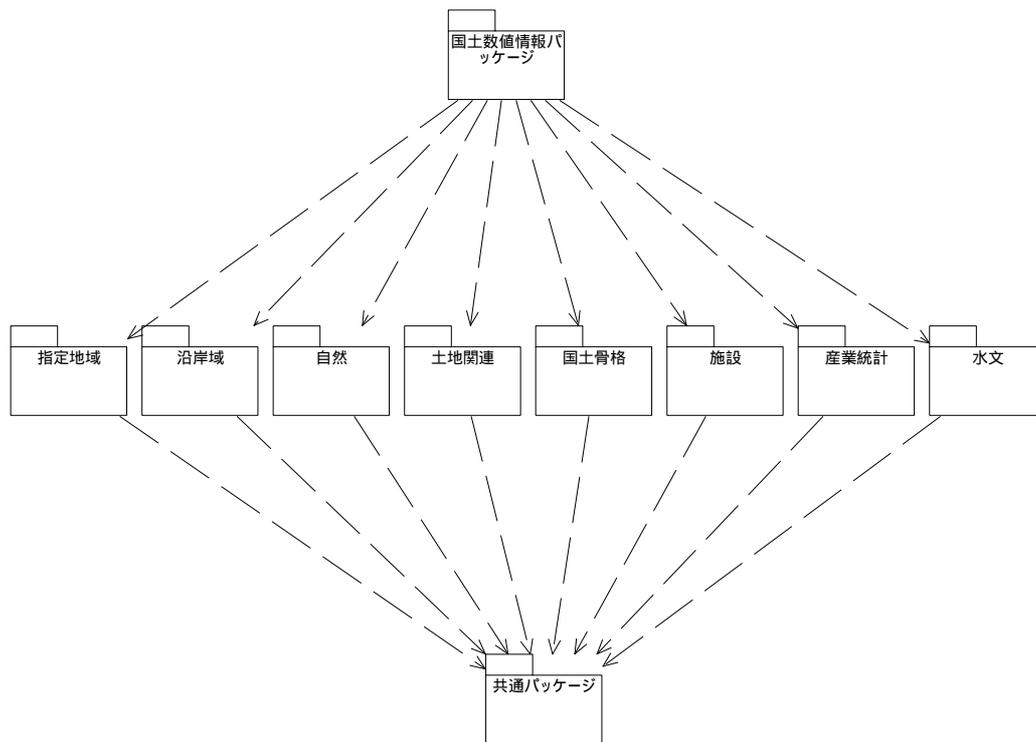
4.1.1 国土数値情報パッケージ

このパッケージは、国土数値情報のパッケージ構成をまとめたものである。国土数値情報応用スキーマで使用する JPGIS の型に関するパッケージと国土数値情報応用スキーマパッケージの依存関係を示す。



4.1.2 国土数値情報応用スキーマパッケージ

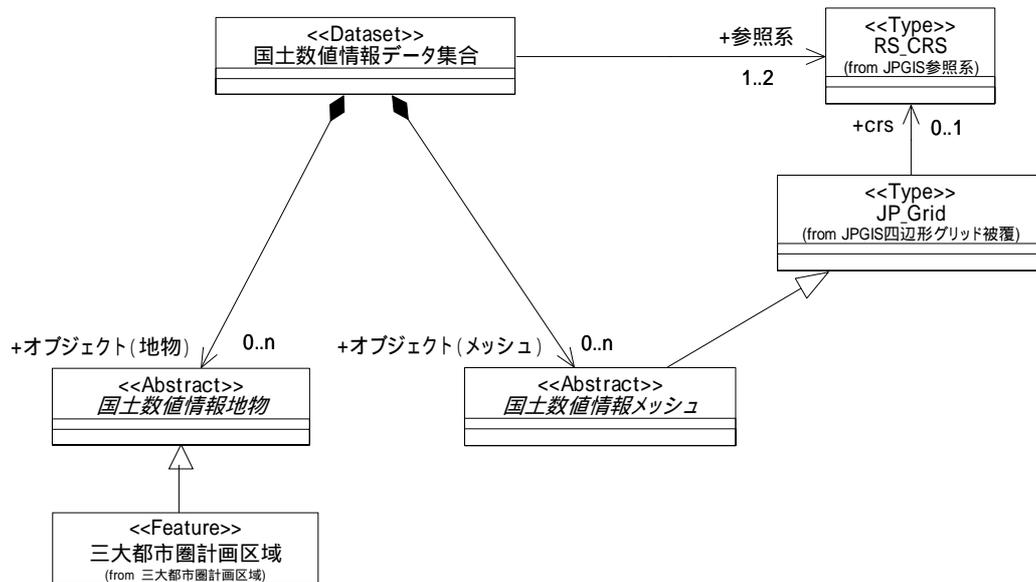
このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.3 国土数値情報データ集合パッケージ

このパッケージは、国土数値情報データ応用スキーマに含まれる全ての地物およびメッシュをまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

国土数値情報データ集合

1 つ以上の国土数値情報地物あるいは国土数値情報メッシュから構成される国土数値情報のデータセット。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：具象

関連役割：

参照系[1..2]：RS_CRS

座標参照系および時間参照系への参照。座標参照系については必ず記載する。

オブジェクト（地物）[0..n]：国土数値情報地物

国土数値情報データ集合を構成する国土数値情報地物。

オブジェクト（メッシュ）[0..n]：国土数値情報メッシュ

国土数値情報データ集合を構成する国土数値情報メッシュ。

国土数値情報地物

国土交通省国土計画局総務課国土情報整備室が提供する国土数値情報ベクトルデータ項目。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：抽象

国土数値情報メッシュ

国土交通省国土計画局総務課国土情報整備室が提供する国土数値情報メッシュデータ項目。

上位クラス：JP_Grid

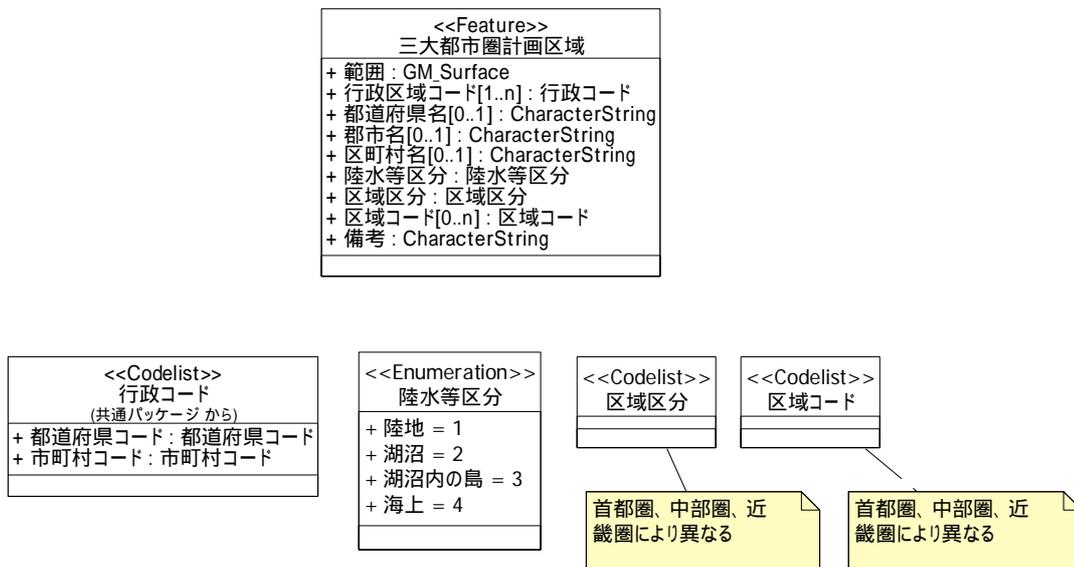
抽象/具象区分：抽象

4.1.4 指定地域パッケージ



4.1.5 三大都市圏計画区域パッケージ

4.1.5.1 応用スキーマクラス図



4.1.5.2 応用スキーマ文書

三大都市圏計画区域

参考

原資料：都市計画図、三大都市圏計画位置図

上位クラス：国土数値情報地物

抽象/具象区分：具象

属性

範囲：GM_Surface

行政区域コード[1..n]：行政コード

都道府県コードと市区町村コードからなる、行政区を特定するためのコード。

■ 定義域

「行政コード」がとりうる値。

都道府県名[0..1]：CharacterString

当該行政区の都道府県の名称。

郡市名[0..1]：CharacterString

当該行政区の郡市の名称。

区町村名[0..1]：CharacterString

当該行政区の区町村の名称。

陸水等区分：陸水等区分

■ 定義域

1、2、3、4のいずれか。

1～4は以下を参照。

コード	対応する内容
1	陸地
2	湖沼
3	湖沼内の島
4	海上

区域区分：区域区分

■ 定義域

「区域区分」がとりうる値。

➤ 参考：コードリスト「区域区分」の内容

首都圏

コード	対応する内容
0	無指定
1	既成市街地
2	近郊整備地帯（[近郊緑地保全区域]との重複無し）
3	都市開発区域
4	近郊緑地保全区域（全て[近郊整備地帯]内）
5	近郊緑地特別保全地区（全て[近郊緑地保全区域]内）

中部圏

コード	対応する内容
0	無指定
1	都市整備区域（[保全区域]との重複無し）
2	都市開発区域
3	保全区域（[都市整備区域]との重複無し）
4	保全区域 [都市整備区域]との重複区域

近畿圏

コード	対応する内容
0	無指定
1	既成都市区域
2	近郊整備区域
3	都市開発区域
4	保全区域（[近郊緑地保全区域]との重複無し）
5	近郊緑地保全区域（全て[保全区域]内）
6	近郊緑地特別保全地区（全て[近郊緑地保全区域]）

区域コード[0..n]: 区域コード

■ 定義域

「区域コード」がとりうる値。

備考 : CharacterString

4.1.6 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキームで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

コードリストについては、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

なお、三大都市圏計画区域パッケージで使用するコードリストは以下である。

- ・ 行政コード
- ・ 区域区分
- ・ 区域コード

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子：TD / (B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子：GC / JST

6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合の地物の員数を、変換前データと比較し、過剰を評価する。
データ品質評価手法	抜取検査を実施する。
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%（抜取り試料に対して）

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合の地物の員数を、変換前データと比較し、過剰を評価する。
データ品質評価手法	抜取検査を実施する。
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%（抜取り試料に対して）

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	応用スキーマで決められた地物を逸脱した地物がないか、また、地物同士の関係が応用スキーマと矛盾しないか。
データ品質評価手法	論理検査プログラム（XMLパーサなど）によって、XML Schema とデータ集合に矛盾がないか、評価する。
適合品質水準	100%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の値が決められた定義域中にあるか。空間属性及び時間属性は、それぞれ規定された範囲にあるか。
データ品質評価手法	論理検査プログラムによって、主題属性の定義域及び地物の地理的範囲、時間的範囲が定義域中にあるか、評価する。
適合品質水準	100%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合のファイル形式がXMLの仕様に適合しているか。
データ品質評価手法	論理検査プログラム（XMLパーサなど）によって、データ集合のファイル仕様がXMLの文法に適合しているか、評価する。
適合品質水準	100%

品質要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	三大都市圏計画区域
データ品質評価尺度	図形同士の関係("離れている"、"接している"、"重なっている"、"一致している"、"含んでいる")が正しいか。
データ品質評価手法	論理検査プログラムによって、三大都市圏計画区域の位相の関係の一貫性が保たれているか(隣り合う三大都市圏計画区域で境界線を共有しているか)、評価する。
適合品質水準	100%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 1.0 版 附属書 8 (参考) XML に基づく符号化規則

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 1.0 版 附属書 8 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、JPGIS 附属書 8 に掲載されている XML Schema を採用する。

国土数値情報の符号化のためのタグ一覧及び符号化仕様は、「別冊 符号化仕様」を参照されたい。

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2 配布媒体情報

■ 単位

首都圏、中部圏、近畿圏

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、JMP2.0を採用する。